

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

ミッション

最先端テクノロジーと創造力で、産業の変革をリードする。

売上高

7,200百万円

営業利益

600百万円

経常利益

580百万円

当期純利益

330百万円

2 中長期の経営戦略

1. ICTソリューション事業：人材への投…

ハイレイヤーエンジニア採用強化、給与水準見直し、体系的な教育研修プログラムへの投資、職場環境向上に取り組む。

3. ICTソリューション事業：プレゼンス…

展示会や業界イベント参加でコーポレートブランディング強化、XR・AI分野での開発実績積み上げ。

2. ICTソリューション事業：AI活用と…

生成AI全社活用、コード生成や要件定義支援、ドローン等の研究開発リソース重点配分で新サービス創出を目指す。

4. クロスボーダー流通プラットフォーム事…

広告投資、シンガポール直営店舗とECサイト起点にデジタル販促強化、主力商品創出支援。

3 対処すべき課題

① 先端技術の習得

- ・ AI・XRを活用した案件増加で市場ニーズに応える技術力習得が重要。
- ・ パートナー企業とのアライアンスで新技術研究・実証実験に努める。

② 人材の確保と育成

- ・ 先端技術・大型案件担当エンジニア獲得と育成が中長期成長の鍵。
- ・ ブランディング強化による知名度向上、キャリア応じた教育制度整備。
- ・ リモートワークやフルリモート勤務導入で優秀人材の長期活用環境構築。

③ 事業領域の拡大と構造転換

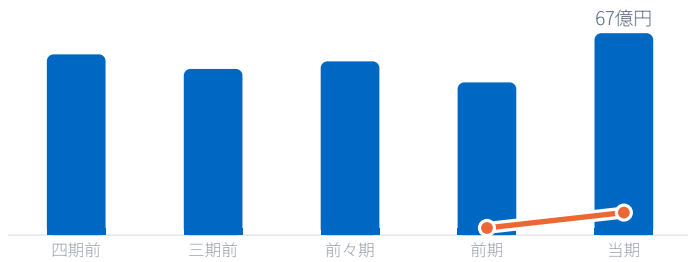
- ・ 受託開発型から多極的事業構造への転換で持続的成長基盤を構築。
- ・ 自社サービス提供型ソリューション開発で産業イノベーション領域拡大。
- ・ M&A・資本業務提携で売上高100億円達成を目指す。

面接で使えるポイント

- ・ 2026年6月期に売上高7,200百万円達成を目指し、AI・XR分野での開発実績積み上げを重視している企業。
- ・ 先端技術習得とエンジニア確保を課題に、ハイレイヤー人材採用と教育制度整備に戦略的投資を実行している。
- ・ ICTソリューション事業の受託開発型から、自社サービス提供型への事業転換でM&A検討を推進中。

証券コード 3625

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
情報通信・サービス業を営む上場企業

主力事業・セグメント

- ・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・営業利益率11.2%の安定した収益性
- ・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
67億円

営業利益率
11.2%

財務健康度
67点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 49.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
631万円

情報・通信業内 348位/592社

平均年齢
41.6歳

情報・通信業内 119位/593社

平均勤続
7.9年

情報・通信業内 212位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: テックファーム、りそな銀行の新決済サービス「FlexPayD

